

令和元年度事業報告

1 教育支援事業（母校、地域、在学生への支援）

- (1) 経済学部との連携による学生の就職活動に対する支援
 - ① 就職アドバイザー4人による学生の就職相談への対応
毎週、月・火・木・金曜日の14:30~16:30 実施（経済学部鳳陽会連携室）
 - ② 模擬面接の実施（11月の水曜日に3回実施、参加企業は3社
企業等の人事担当者、就職アドバイザーが面接官になり、学生との集団模擬面接を実施
- (2) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
 - ① 柳上奨学金（給付型奨学金）を職業会計人を目指す学生12名に対し、計3,200千円を給付
 - ② 全国大学対抗簿記大会への助成
 - ③ 公認会計士試験、税理士試験合格者の表彰、副賞助成
 - ④ 職業会計人コースの奨学金造成事業の支援
- (3) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
 - ① 留学生の参加を得て実施する英会話特訓講座開講に要する経費の一部を支援
 - ② 英会話講座等 TOEIC テキスト購入経費を助成
 - ③ 短期海外語学留学参加学生に対し、経費の一部を支援
- (4) 経済学部の学科別成績優秀者の表彰、副賞助成

2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会（各学部同窓会の連合同窓会）活動の支援・参加、他学部同窓会との交流促進
 - ① ワンコイン朝食の実施、ホームカミングデーの開催、学生企画活動への支援、ヤマミィカードの作成等大学同窓会事業の支援と積極的参加
 - ② 霜仁会（医学部同窓会）、常盤工業会（工学部同窓会）の山口大学他学部の同窓会総会への出席、交流促進
- (2) 卒業時、卒業生（新会員）に鳳陽会紹介パンフレット「花なき山の・・・」及び記念品（シャープペンシル）、機関誌「鳳陽」を配付し、支部活動への参加、卒業後の住所連絡、会費納入を要請
- (3) 会員と学生との積極的交流
山口支部総会へ山口大学留学生（アフガニスタン及びマラウイの2名）を招待
- (4) 経済学部の「新入生保護者懇談会」において、「鳳陽会」の沿革、活動内容を紹介し、同窓会活動に対する理解を求めた。
- (5) 中央寮歌祭（東京支部）への参加に対する支援
- (6) 本部ホームページの刷新作業を進めた。

3 同窓会関係事業

- (1) 第 89 回通常総会（全国総会）を開催し、会員相互の交流を促進した。
 - ・ 日 時 令和元年 6 月 15 日（土） 16：00～19：00
 - ・ 場 所 〒810-8587 福岡市中央区大名 2-6-60 西鉄グランドホテル
 - ・ 出席者 約 210 名（うち経済学部 の招待学生：11 名）
- (2) 各支部総会への本部の積極的参加及び情報提供
東京、名古屋支部、京滋支部から北九州、福岡までの全国の 15 支部の総会に出席するとともに、支部総会において山口大学や経済学部 の最近の動向、地域に関する情報の提供に努めた。
- (3) 会員の動静管理や鳳陽会関係資料の充実
各支部との連携の下、会員の動静把握・情報整理に努めるとともに、各支部・会員へ迅速・正確なデータの提供、鳳陽会関係資料の一層の充実に努めた。
- (4) 山口市で開催された同期会の開催を積極的に支援した。
- (5) 鳳陽会本部ホームページの刷新作業に取り組んだ。
- (6) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善方策の一つとして、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる「寄付制度の創設」について、具体化に向けた検討を進めた。

4 会報発行事業

- (1) 機関誌「鳳陽」の編集、発行及び送付・配付を年 3 回実施した。
 - ・ 第 166 号（5 月発行）
従来どおり、海外会員を含む全会員（住所・自宅判明者：約 12,700 名）へ送付
 - ・ 第 167 号（9 月発行）及び第 168 号（1 月発行）
鳳陽会の厳しい財政状況を踏まえ、正会員（年会費納入会員及び賛助会費納入会員：約 2,600 名）のみに送付した。
 - ・ その他、経済学部の教官（現・旧）、経済学部生及び新入生保護者や、山口大学学長、副学長や関係部課（総務部、広報課等）、他学部同窓会及び他大学同窓会等へ送付した。

5 本年度の重点施策（再掲）

鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図り、次の世代に同窓会活動を繋いでいくために、アンケート結果に基づく具体策として、次の施策を展開した。

- (1) 組織運営体制の強化
各支部の会員名簿の整理、会員の動静把握に努めるとともに、支部総会へ出席する等、鳳陽会の組織運営体制の強化に努めた。
- (2) 鳳陽会活動の活性化
支部活動の支援、ホームページの刷新・改善、寄付制度創設についての検討を始めとする「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策についての取組・検討を進めた。

正味財産増減計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,448,097	2,267,154	△ 819,057
受取入金	6,660,000	6,680,000	△ 20,000
受取会費	3,033,000	2,945,000	88,000
受取寄付金	611,084	321,722	289,362
受取広告料	560,000	650,000	△ 90,000
受取利息	17,338	18,139	△ 801
雑収入	3,369,860	47,910	3,321,950
経常収益計	15,699,379	12,929,925	2,769,454
(2) 経常費用			
① 事業費	14,719,785	18,391,892	△ 3,672,107
給料手当	3,343,901	3,277,303	66,598
福利厚生費	484,965	489,495	△ 4,530
教育援助費	4,938,900	1,988,600	2,950,300
情報交流費	1,306,368	1,294,472	11,896
減価償却費	520,523	520,523	0
通信運搬費	1,410,582	1,414,452	△ 3,870
消耗品費	32,388	53,222	△ 20,834
「鳳陽」刊行費	1,436,555	1,381,637	54,918
同窓会事業費	1,053,148	7,780,226	△ 6,727,078
光熱水料費	192,455	191,962	493
② 管理費	4,195,066	4,470,247	△ 275,181
給料手当	1,425,385	1,418,777	6,608
福利厚生費	207,843	209,785	△ 1,942
会議費	149,360	142,448	6,912
旅費交通費	130,280	378,302	△ 248,022
通信運搬費	470,691	393,154	77,537
減価償却費	223,081	223,081	0
消耗品費	52,880	29,603	23,277
消耗品什器備品費	78,780	171,986	△ 93,206
修繕費	0	0	0
光熱水料費	82,479	82,269	210
賃借料	682,895	694,511	△ 11,616
租税公課	270,500	280,500	△ 10,000
雑費	420,892	445,831	△ 24,939
経常費用計	18,914,851	22,862,139	△ 3,947,288
当期経常増減額	△ 3,215,472	△ 9,932,214	6,716,742
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,215,472	△ 9,932,214	6,716,742
一般正味財産期首残高	50,769,782	60,701,996	△ 9,932,214
一般正味財産期末残高	47,554,310	50,769,782	△ 3,215,472
(うち特定資産への充当額)	39,682,714	38,939,110	743,604
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減高	△ 3,300,000	50,000,000	△ 53,300,000
指定正味財産期首残高	170,300,000	120,300,000	50,000,000
指定正味財産期末残高	167,000,000	170,300,000	△ 3,300,000
(うち特定資産への充当額)	120,300,000	120,300,000	0
III 正味財産期末残高	214,554,310	221,069,782	△ 6,515,472

注) 上記正味財産増減計算書は、平成20年会計基準で作成

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度末	前年度末	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	51,298,554	57,050,371	△ 5,751,817
未収金	0	40,000	
流動資産合計	51,298,554	57,090,371	△ 5,791,817
2 固定資産			
(1) 特定資産			
前受入金引当資産	30,500,000	30,700,000	△ 200,000
記念基金引当資産	117,500,000	117,500,000	0
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	38,682,714	37,939,110	743,604
特定資産合計	190,482,714	189,939,110	543,604
(2) その他の固定資産			
建 物	7,213,721	7,882,652	△ 668,931
建物附属設備	9,200	47,700	△ 38,500
構 築 物	201,433	218,065	△ 16,632
什 器 備 品	503,020	522,561	△ 19,541
出 資 金	30,000	30,000	0
投資有価証券	1,157,636	1,884,290	△ 726,654
その他の固定資産合計	9,115,010	10,585,268	△ 1,470,258
固定資産計	199,597,724	200,524,378	△ 926,654
資産合計	250,896,278	257,614,749	△ 6,718,471
II 負債の部			
1 流動負債			
預 り 金	6,322	0	6,322
未 払 金	75,646	175,967	△ 100,321
前 受 金	5,760,000	5,669,000	91,000
流動負債合計	5,841,968	5,844,967	△ 2,999
2 固定負債			
前受入金	30,500,000	30,700,000	△ 200,000
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	30,500,000	30,700,000	△ 200,000
負債合計	36,341,968	36,544,967	△ 202,999
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	167,000,000	170,300,000	△ 3,300,000
(うち特定資産への充当額)	120,300,000	120,300,000	0
2 一般正味財産	47,554,310	50,769,782	△ 3,215,472
(うち特定資産への充当額)	39,682,714	38,939,110	743,604
正味財産合計	214,554,310	221,069,782	△ 6,515,472
負債及び正味財産合計	250,896,278	257,614,749	△ 6,718,471

註) 上記貸借対照表は、平成20年会計基準で作成